



株主の皆様へ

第63期 中間事業報告

平成20年12月1日 ◆ 平成21年5月31日



大阪有機化学工業株式会社
OSAKA ORGANIC CHEMICAL INDUSTRY LTD.

<http://www.ooc.co.jp/>

証券コード 4187

株主の皆様へ

TOP MESSAGE

C O N T E N T S

- 01 株主の皆様へ
- 03 TOPICS
- 05 売上高の構成(連結)
- 06 事業フィールド
- 07 中間連結貸借対照表
- 08 中間連結損益計算書、
中間連結キャッシュ・フロー計算書、
業績の推移
- 09 会社概要
- 10 株式の状況
- 11 株主メモ



株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申しあげます。

平素は格別のご支援、ご指導を賜わり有難く厚く御礼申しあげます。

第63期上期(平成20年12月1日から平成21年5月31日まで)の決算を行いましたので事業の概況についてご報告申しあげます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、米国の金融危機に端を発した世界的な景気の悪化により、企業収益が大幅に減少し、設備投資の減退や雇用情勢の悪化等の影響を受けて、景気が非常に厳しい状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境も、自動車や電子材料を始めとする各産業界における市場環境は厳しさを増し、在庫調整圧力の高まり等により、生産・販売において大幅に悪化いたしました。

このような情勢の下で、当社グループにおきましては、選択と集中による持続的な成長力の構築を基本軸に、新製品開発のための技術力の強化や生産コスト削減等に取り組んでまいりましたが、当中間連結会計期間の売上高は73億5百万円、営業損失は2億6千1百万円、経常損失は2億3千6百万円、大阪工場の一部の固定資産についての減損損失6億3千8百万円等により中間純損失は12億4千7百万円となりました。

当期の配当金につきましては、長期的な観点に立ち財務体質と経営基盤の強化を図るとともに株主の皆様への利益還元を経営の重要政策として位置づけ、会社の業績や今後の事業計画に備えた内部留保等を勘案してバランスをとりつつ決定した結果、当初は1株当たり年間8円(中間4円、期末4円)を予定しておりましたが、上期の業績に鑑み、誠に遺憾ながら中間配当を2円に修正させていただきました。なお、期末配当につきましては4円とし、年間配当は6円を予定しております。

当期の見通しにつきましては、景気に改善のきざしが見られるものの、個人消費や雇用情勢は依然として厳しい状況の中で推移するものと予想されます。当社グループを取り巻く事業環境につきましても、電子材料分野等で底入れの兆候は現れておりますが、先行きの不透明感は継続するものと予想しております。

このような情勢の下、当社及び子会社といたしましては、製品の徹底した品質管理と生産コストの削減、安全性の確保を第一に、業績回復に向けて新規製品の開発・販売に全社を挙げて取り組んでいくとともに、引き続き大阪工場の再整備計画を進め、全社での製品生産体制合理化の強化と業績の向上を目指し、一層の財務内容の健全化を進める所存であります。

現時点での通期の連結業績見通しは、売上高175

億8千4百万円、営業利益4千4百万円、経常利益5千5百万円、当期純損失10億8百万円を予定しております。

株主の皆様におかれましても、なにとぞ一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年8月

取締役社長
鎮目 泰昌



新研究棟完成

～設備投資による研究開発の強化～



完成した新研究棟

当社は、主力工場である金沢工場（石川県白山市）の敷地内において、研究開発機能を強化するために、新研究棟の建設を行いました。

新研究棟は、3階建て延べ床面積は約2,880㎡、投資額は約5億円です。平成21年7月17日に、石川県知事や白山市副市長などを来賓に迎えて竣工式が執り行われました。

今回の設備投資では、平成21年1月に完成したパイロットプラント（試作用製造設備）と併せて、医薬品・化粧品・電子材料の原料となる化学物質の探索及び製造



平成21年1月に完成したパイロットプラント設備

技術を研究開発することで、既存の事業領域の市場拡大はもとより、新規領域への参入も見据えて、研究開発機能を再編・増強することで、より優れた特性を持つ化学物質の研究開発を目指します。



テープカットの様子

日経IRフェア2009

～個人投資家向け IR活動の充実～



当社は、平成21年9月4日（金）～5日（土）に東京ビッグサイト（東京都江東区有明）で開催される、個人投資家の皆様を対象とした「日経IRフェア2009 STOCK WORLD」にブースを出展いたします。

本IRフェアには、昨年も参加しておりますが、当社の展示ブースにも多くの来場者の方が訪れて下さいました。当社の事業概要や財務内容などについて、少しでも多くの方に知っていただける良い機会になったと考えております。

今回も様々な企業がブースを出展し、著名人による講演会も開催される予定です。ぜひ会場へお越し下さいますよう、お待ち申し上げます。

会場へのアクセス：

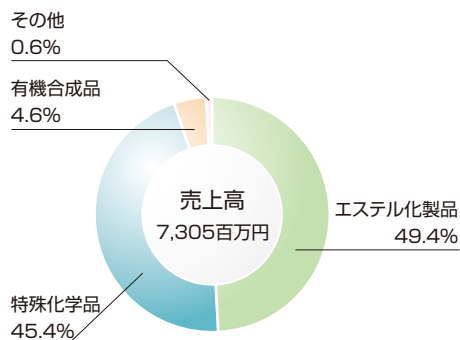
ゆりかもめ「国際展示場正門」駅下車徒歩約3分 または
りんかい線「国際展示場」駅下車徒歩約7分



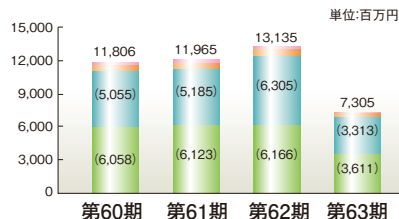
昨年のIRフェアの様子

なお詳細は、ホームページ (<http://www.nikkei-irfair.jp/>) をご参照下さい。

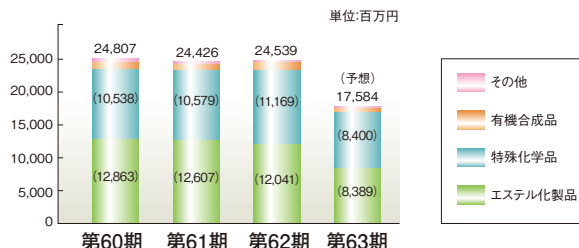
連結



中間期



通期



連結経営成績

エステル化製品部門

主要商品: ●自動車塗料・建築材料等塗料 ●光ファイバー被覆剤 ●下水処理剤 ●紙力増強剤

エステル化製品部門におきましては、自動車特殊塗料向けや情報関連分野向け等のアクリル酸エステルが前年同期比64.9%、建築材料向けや粘接着剤向け等のメタクリル酸エステルは、前年同期比49.7%と大幅な減少となりました。この結果、部門全体の売上高は36億1千1百万円となりました。

有機合成品部門

主要商品: ●アクリル酸

有機合成品部門におきましては、粘接着剤向け等で前年同期比60.0%となりました。この結果、部門全体の売上高は3億3千7百万円となりました。

特殊化学品部門

主要商品: ●液晶用材料 ●プリント基板用液状レジスト ●医薬中間体 ●化粧品原料

特殊化学品部門におきましては、化粧品ポリマーグループでは前年同期比104.5%と堅調に推移しましたが、医薬中間体グループは前年同期比86.9%にとどまりました。液晶材料や半導体材料を中心とする電子材料グループは前年同期比50.5%、繊維用撥材等のその他ファイングループも前年同期比28.1%と大幅に減少いたしました。この結果、部門全体の売上高は33億1千3百万円となりました。

その他部門

主要商品: ●試薬

その他の部門では、試薬等で売上高は4千1百万円となりました。



中間連結貸借対照表

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期 21.5.31現在	前中間期 20.5.31現在	前 期 20.11.30現在
(資産の部)			
流 動 資 産			
現金及び預金	1,376	2,666	1,984
受取手形及び売掛金	4,793	7,363	5,760
有価証券	-	100	-
たな卸資産	3,041	3,711	4,279
繰延税金資産	327	73	154
その他	88	25	51
貸倒引当金	△ 19	△ 23	△ 21
流動資産合計	9,606	13,916	12,208
固 定 資 産			
有形固定資産			
建物及び構築物	5,059	4,838	4,595
機械装置及び運搬具	3,381	3,738	3,224
土 地	2,096	2,096	2,096
建設仮勘定	495	201	1,343
その他	199	281	237
有形固定資産合計	11,231	11,156	11,497
無形固定資産			
	2	2	3
投資その他の資産			
投資有価証券	2,804	2,266	2,447
保険積立金	227	218	216
繰延税金資産	-	92	112
その他	73	94	88
投資その他の資産合計	3,105	2,671	2,864
固定資産合計	14,339	13,831	14,365
資 産 合 計	23,946	27,748	26,573

科 目	当中間期 21.5.31現在	前中間期 20.5.31現在	前 期 20.11.30現在
(負債の部)			
流 動 負 債			
支払手形及び買掛金	2,181	3,714	3,500
短期借入金	770	185	352
一年以内償還予定の社債	160	160	160
未 払 金	1,028	857	1,586
未払法人税等	19	441	129
賞与引当金	-	27	25
役員賞与引当金	-	20	34
その他	201	592	341
流動負債合計	4,360	5,999	6,130
固 定 負 債			
社 債	700	860	780
長期借入金	46	172	56
退職給付引当金	136	132	133
役員退職慰労引当金	477	459	477
固定資産撤去損失引当金	280	-	-
繰延税金負債	73	-	-
固定負債合計	1,714	1,624	1,447
負 債 合 計	6,075	7,624	7,577
(純資産の部)			
株 主 資 本			
資本金	3,318	3,318	3,318
資本剰余金	3,295	3,295	3,295
利益剰余金	11,354	13,133	12,688
自己株式	△ 547	△ 144	△ 547
株主資本合計	17,420	19,602	18,754
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	288	320	48
評価・換算差額等合計	288	320	48
少数株主持分	162	200	192
純資産合計	17,870	20,123	18,995
負債及び純資産合計	23,946	27,748	26,573



中間連結損益計算書、中間連結キャッシュ・フロー計算書、業績の推移

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	20.12.1より 21.5.31まで	19.12.1より 20.5.31まで	19.12.1より 20.11.30まで
売 上	7,305	13,135	24,539
売 上 原 価	6,353	10,559	20,325
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,213	1,579	3,080
営 業 利 益 (△ 損 失)	△ 261	996	1,133
営 業 外 収 益	40	32	81
営 業 外 費 用	15	13	25
経 常 利 益 (△ 損 失)	△ 236	1,015	1,190
特 別 利 益	60	0	18
特 別 損 失	1,212	13	340
税金等調整前四半期(当期)純利益(△純損失)	△ 1,388	1,002	868
法人税、住民税及び事業税	6	413	472
法人税等調整額	△ 119	△ 19	65
少 数 株 主 利 益 (△ 損 失)	△ 28	2	△ 1
中間(当期)純利益(△純損失)	△ 1,247	606	331

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	20.12.1より 21.5.31まで	19.12.1より 20.5.31まで	19.12.1より 20.11.30まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	436	1,932	3,117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,118	73	△ 1,190
財務活動によるキャッシュ・フロー	244	△ 269	△ 871
現金及び現金同等物の増減額(減少は△)	△ 437	1,736	1,055
現金及び現金同等物の期首残高	1,748	693	693
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	1,310	2,430	1,748

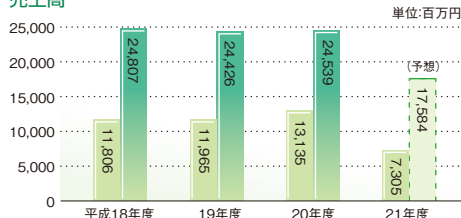
(注) 当期子の表記につきましては

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」を適用しております。従いまして、当四半期財務諸表情報と前年同期財務諸表情報とは、作成基準が異なるため前年比較に関する情報は、参考として記載しております。

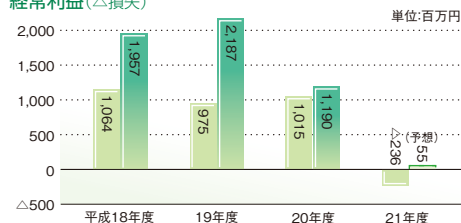
業績の推移

■ 中間期 ■ 通期

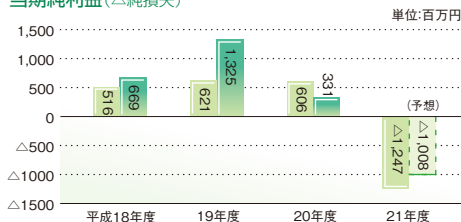
売上高



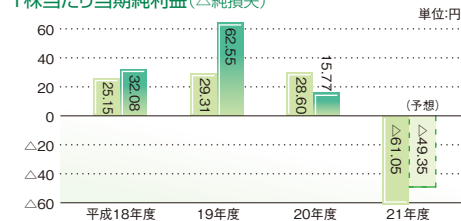
経常利益(△損失)



当期純利益(△純損失)



1株当たり当期純利益(△純損失)



会社概要

会社概要 (平成21年5月31日現在)

商号	大阪有機化学工業株式会社
設立	昭和21年12月21日
資本金	3,318,344,296円
発行済株式総数	21,787,038株
株主数	3,419名
従業員数	401名
主な事業内容	各種エステル化製品、有機合成品、特殊化学品等の製造及び販売



本社



東京オフィス

本社及び事業所

本社	大阪市中央区安土町1丁目7番20号(新トヤマビル) TEL.06(6264)5071
東京オフィス	東京都中央区日本橋本町1丁目7番2号(ニュー江戸橋ビル) TEL.03(6202)7051
大阪工場	大阪府柏原市片山町18番8号 TEL.072(978)6261
金沢工場	石川県白山市松本町1600-1 TEL.076(276)6261
酒田工場	山形県飽海郡遊佐町藤崎字茂り松157番23 TEL.0234(71)5721
八千代事業所	千葉県八千代市大和田新田601番地 TEL.047(459)1271

子会社

会社名	神港有機化学工業株式会社
住所	神戸市東灘区住吉浜町18番地の26
資本金	55,000千円
従業員数	31名
事業内容	酢酸エステルの製造販売



株式の状況

役員および理事 (平成21年5月31日現在)

取締役社長	鎮目 泰昌
専務取締役	白築 良
常務取締役	上林 泰二
常務取締役	松尾 修
取締役	松永 光正
取締役	永松 茂治
取締役	佐伯 毅明
社外取締役	安原 徹
専務理事	相原 福雄
常務理事	山田 光信
理事役	服部 静生
理事役	岡本 博
理事役	野口 英志
理事役	真銅 孝明
常勤監査役	伊田 忠夫
社外監査役	野中 英世
社外監査役	吉村 勲

会計監査人 (平成21年7月1日現在)

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

(注) 監査法人トーマツは、平成21年7月1日付けで名称を「有限責任監査法人トーマツ」へと変更しました。

株式の状況 (平成21年5月31日現在)

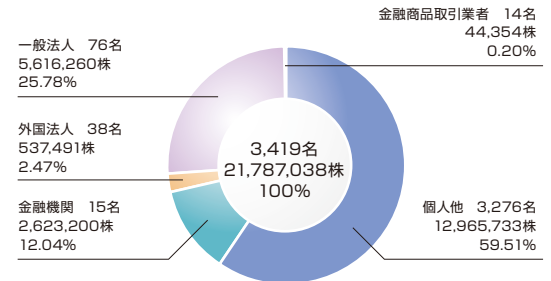
発行可能株式総数	76,000,000株
発行済株式総数	21,787,038株
株主数	3,419名

大株主

株主名	当社への出資の状況	
	持株数	出資比率
鎮目泰昌	1,766 千株	8.64 %
三菱レイヨン株式会社	928	4.54
株式会社三菱東京UFJ銀行	805	3.94
株式会社カネカ	700	3.43
鎮目歳子	693	3.39
嶋田早智子	538	2.63
大阪有機化学従業員持株会	496	2.43
谷川由生子	484	2.37
安川義孝	439	2.15
株式会社りそな銀行	400	1.96

(注) 出資比率は、発行済株式の総数から自己株式を除いた株式数 (20,432,858株) を基準に算出するとともに、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

株式構成



株主メモ

事業年度	毎年12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会	毎年2月
基準日	
定時株主総会関係	毎年11月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年11月30日
中間配当金受領株主確定日	毎年5月31日
公告の方法	電子公告 http://www.ooc.co.jp/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1丁目1番5号* *10月13日より次の住所へ移転します。 〒541-0044 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
単元株式数	100株 (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式事務手続き

特別口座に口座をお持ちの株主様	各種のお手続き、ご照会は特別口座管理機関および株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部へお問合せください。
特別口座から一般口座への振替請求	
単元未満株式の買取(買増)請求	
住所・氏名等のご変更	
特別口座の残高照会	
配当金の受領方法の指定	
郵便物等の発送と返戻に関するご照会	
支払期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問合せ	
証券会社等に口座をお持ちの株主様のお手続き	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。



ホームページアドレス
http://www.ooc.co.jp/